

グループホーム 地域連携推進会議 議事録

日 時 : 令和7年10月16日(木) 14時～16時

場 所 : 陽風園 第1研修室

構成員 : 利用者代表 2名 (さくらより男性1名、あおばより女性1名)
家族代表 1名 (もみじ)
地域の関係者 1名 (地区民生委員児童委員協議会会長)
福祉に知見のある人 1名 (他障害福祉サービス事業所所長)

施 設 : 5名 (施設長、副施設長、支援員)

内 容 : **【会議】**

1. 施設長挨拶
2. 自己紹介
3. 地域連携推進会議について
4. 施設地域との連携
 - (1) 障害者の理解
 - (2) グループホームについて
5. 施設等やサービスの透明性、質の確保
 - (1) 生活している利用者について
 - (2) 食事の提供について
 - (3) 経営状況について
6. 利用者の権利擁護
7. 地域との関わりについて

【見学】

1. グループホームあおば
2. グループホームさくら
3. グループホームもみじ

【会議での質疑・意見交換】

4. 施設地域との連携

会議の中で、施設より「利用者の通院支援の体制や、外部機関との基本的な連携状況」について簡単な説明があった。

その説明を踏まえて、以下の質疑が行われた。

意見：福祉に知見のある人

「当事業所でも居宅介護事業を運営しているため、外部通院などの際には協力が可能です。」

回答：施設

「当グループホームの利用者は、主に近隣の内科等への通院が多く、遠方の通院時には移動支援を活用しています。緊急時にはご家族の付き添いや、職員による対応も行っています。」

5. 施設等やサービスの透明性、質の確保

質問：福祉に知見のある人（利用者代表 A への質問）

「世話人が作る料理で一番好きなものは何ですか？」

回答：利用者代表 A

「寿司！」

（会場から笑いが起こる）

質問：福祉に知見のある人（利用者代表 B への質問）

「あなたの生活の楽しみは何ですか？」

回答：利用者代表 B

「コンビニでサンドイッチとコーヒーをかうことです。」

6. 利用者の権利擁護

意見：家族代表

「金銭が不足してくると、本人がストレスを感じるようで、『あれを買いたい、これを買いたい』といった電話が度々かかってきます。家族としては対応に悩むこともあり、負担に感じることもあります。」

回答：施設

「金銭管理は基本のご家族や後見人の方をお願いしていますが、遠方にお住まいで緊急時の対応が難しい場合などは、当グループホームで口座を管理している利用者もいます。

その場合は、必要に応じてお金を支出し本人にお渡ししています。こうした金銭面でのやり取りについても、ご家族が抱え込まずにご相談ください。多職種で連携しながら、より良い支援を行っていきたいと考えています。」

【見学および意見交換】

会議終了後、3か所のグループホームを見学。
生活環境や設備の説明を受け、入居者の生活の様子を確認した。

質問・意見：地域の関係者

「どのグループホームも清潔で整った環境であり、利用者の皆さんが心地よく過ごしている様子がうかがえました。世話人の方が実際に調理を行っている場面も見ることができ、利用者が朝夕の食事を安心して取れていると感じました。

利用者同士のトラブルなどは起きないのですか？」

回答：施設

「大きな揉め事はほとんどありませんが、生活のリズムや音の感じ方の違いなどから、時に“うるさい”と感じる等のことはあります。完全に独立したアパート型ではないため、一定の生活音や関わりは避けられませんが、そうした場合には世話人や職員が間に入り、話を聞いたり調整を行ったりしています。」

追加意見：地域の関係者

「1階・2階それぞれにトイレが2か所ずつ設置され、広い浴室も備わっており、快適な環境でした。実際に現地を見学することで、利用者の生活環境や地域の雰囲気をも具体的に感じ取ることができました。」

以上をもって、本会議および見学・意見交換を終了した。